

教育課程委員会

1 調査研究の目的

新しい時代に即応する教育計画の立案と実施に伴う課題について，県内小学校における対応の現状と課題を調査・分析し，各校の教育課題の改善・充実のための資料とするために，本調査を実施する。

2 調査方法

本県全会員492名に平成26年7月にアンケート調査を行い，これを集約するとともに，平成25年度に全国連合小学校長会が実施した同様の調査と比較しながら分析する。（以下，各設問のグラフ上段■は本県調査の結果，下段□は全国調査の結果を表している。）

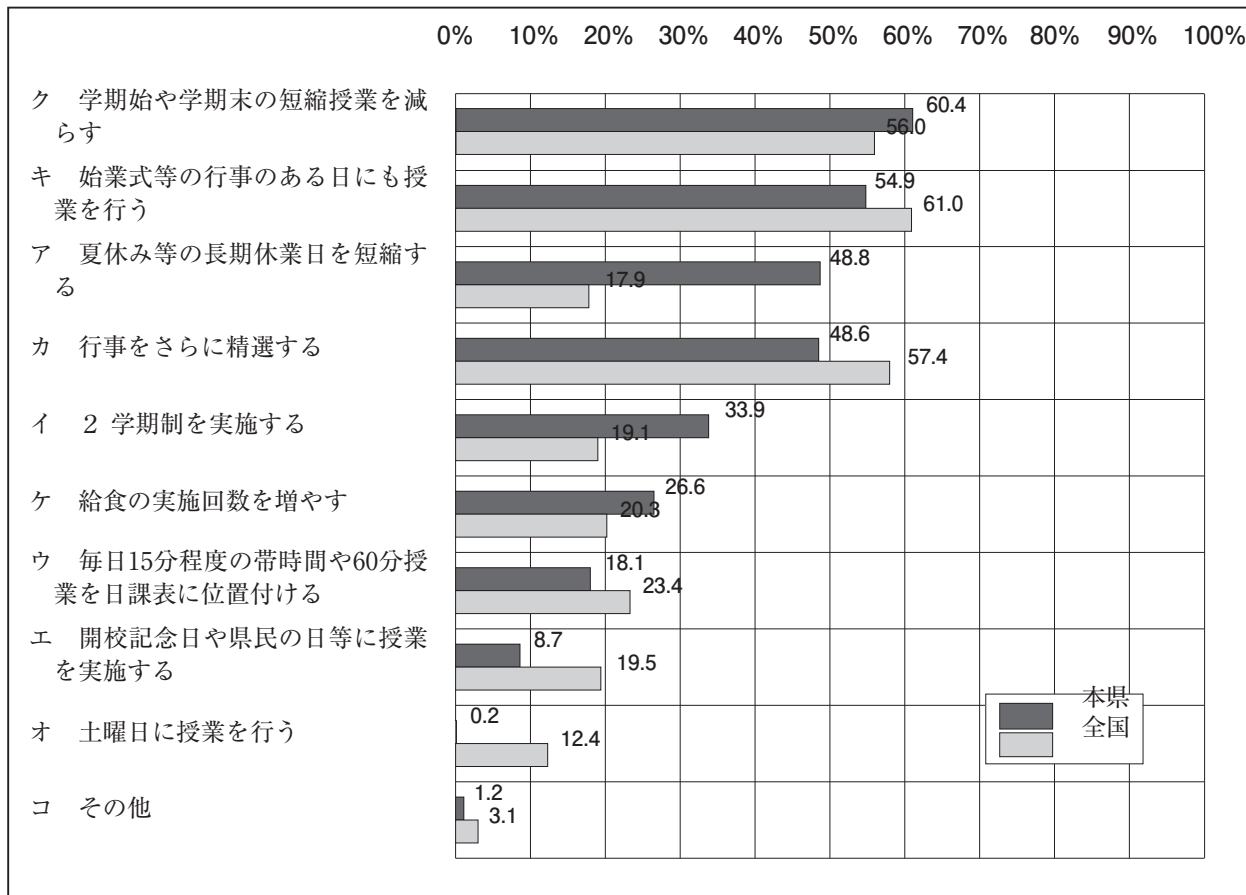
3 調査結果と分析

調査Ⅰ 時数確保に関する調査

【問1，問2】授業時数の確保に関して実施していることと時数確保上の課題

【問1】あなたの学校で，前年度の課題を踏まえ，授業時数の確保に関して，実施していることはどのようなことですか。（複数選択）

<結果>



<分析>

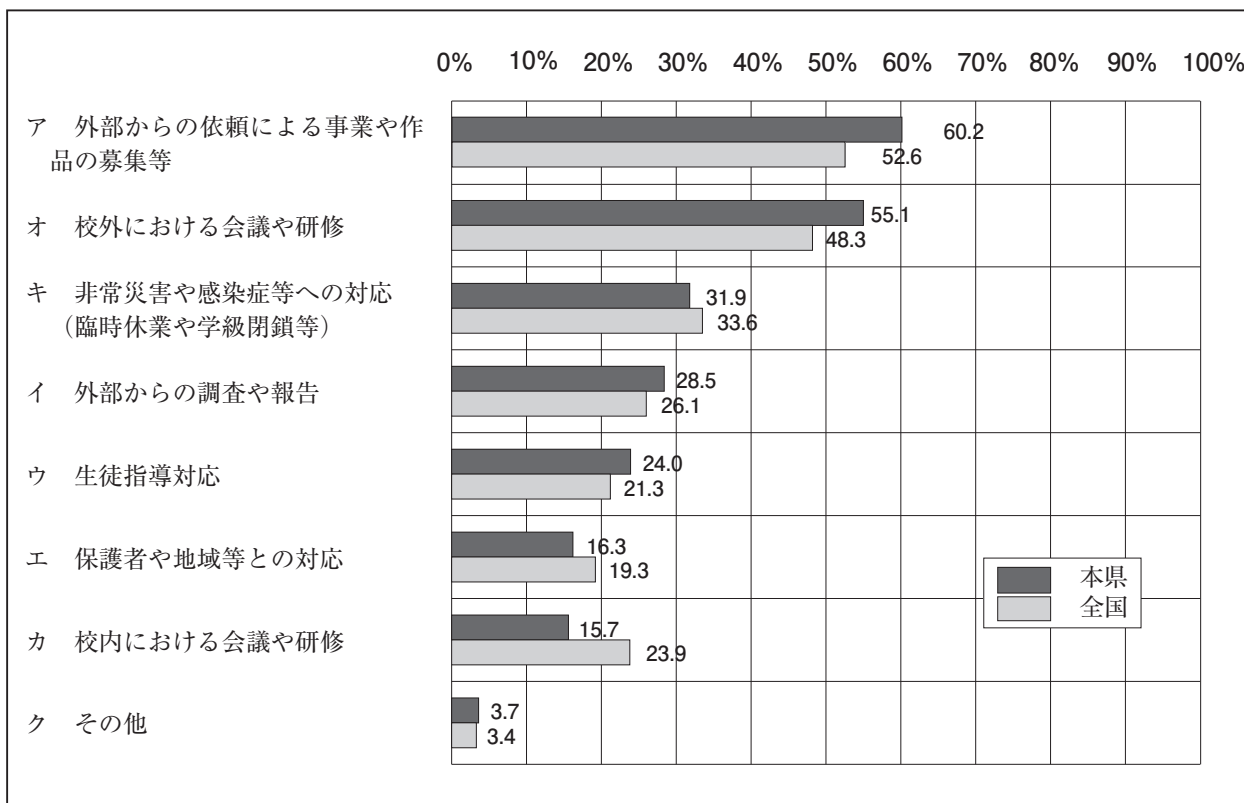
本県において、授業時数の確保に関して実施していることの第1位は「学期始や学期末の短縮授業を減らす」、第2位は「始業式等の行事のある日にも授業を行う」、第3位は「夏休み等の長期休業日を短縮する」である。

全国における第1位は「始業式等の行事のある日にも授業を行う」、第2位は「行事をさらに精選する」、第3位は「学期始や学期末の短縮授業を減らす」である。本県と全国とを比較してみると、本県第3位の「夏休み等の長期休業

日を短縮する」は48.8%であり、全国より30.9ポイント高くなっている。さらに、第5位の「2学期制を実施する」においても、本県は33.9%で、全国より14.8ポイントも高い。第8位の「開校記念日や県民の日等に授業を実施する」については、県民の日がない本県は、全国と比較して割合が低い。また、第9位の「土曜日に授業を行う」については、全国の12.4%に対して、本県は0.2%であり、12.2ポイントも低い結果となっている。

【問2】 あなたの学校で、時数を確保する上で、課題はどのようなことですか。
(3つ以内を選択)

<結果>



<分析>

本県において、授業時数を確保する上での課題の第1位は「外部からの依頼による事業や作品の募集等」、第2位は「校外における会議や研修」であり、いずれも半数を超えている。

全国においても上位2つは同様で、いずれも高い割合である。本県第3位の「非常災害や感

染症等への対応（臨時休業や学級閉鎖等）」、第4位の「外部からの調査や報告」、第5位の「生徒指導対応」、第6位の「保護者や地域等との対応」は、全国と比較して差がない。しかし、第7位の「校内における会議や研修」では全国より8.2ポイントも低い結果となっている。

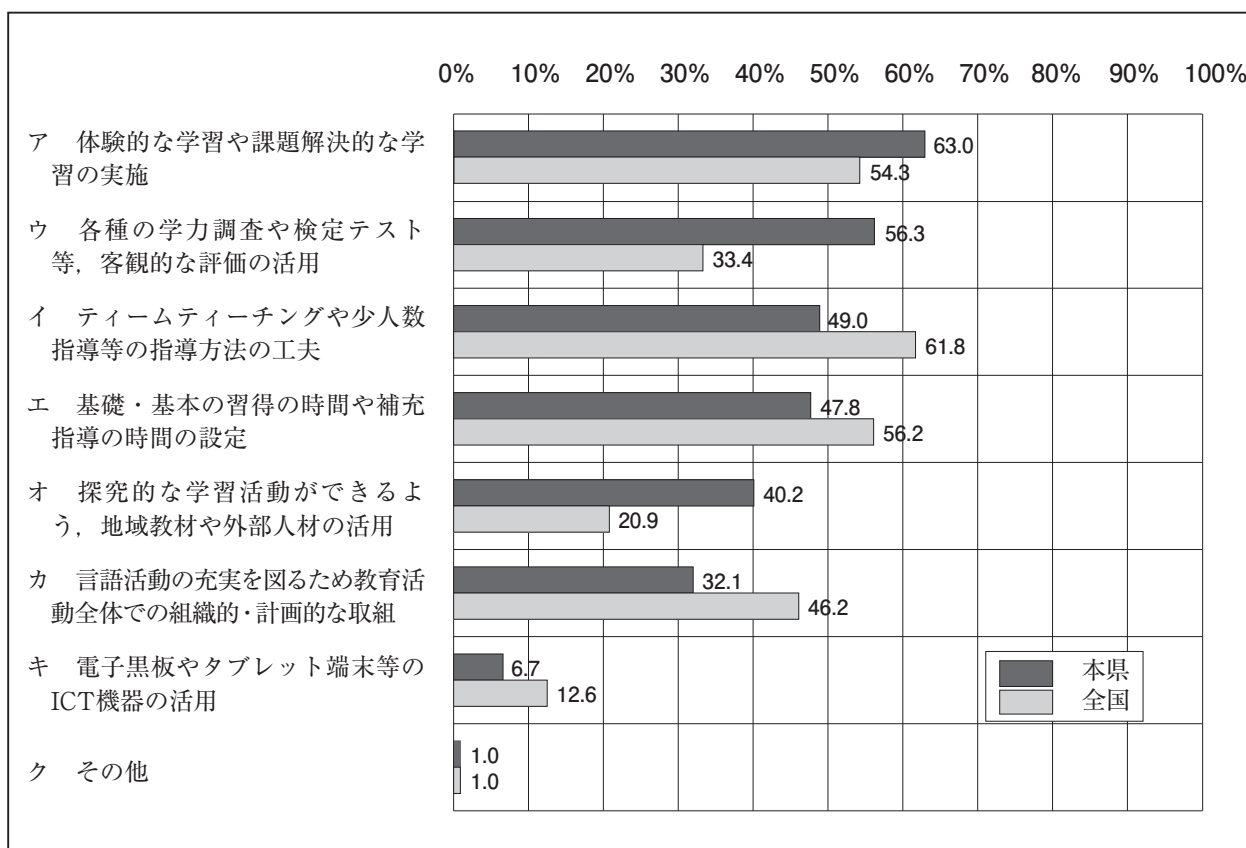
調査Ⅱ 教育課程の編成や学習評価の改善に関する調査

【問1，問2】学習指導充実のための教育課程編成上の工夫・改善とその課題

【問3】 学習評価の妥当性や信頼性を高めるための工夫・改善

【問1】 あなたの学校では、学習指導の充実を図るために、教育課程の編成に当たってどのような工夫・改善を図っていますか。（3つ以内を選択）

<結果>



<分析>

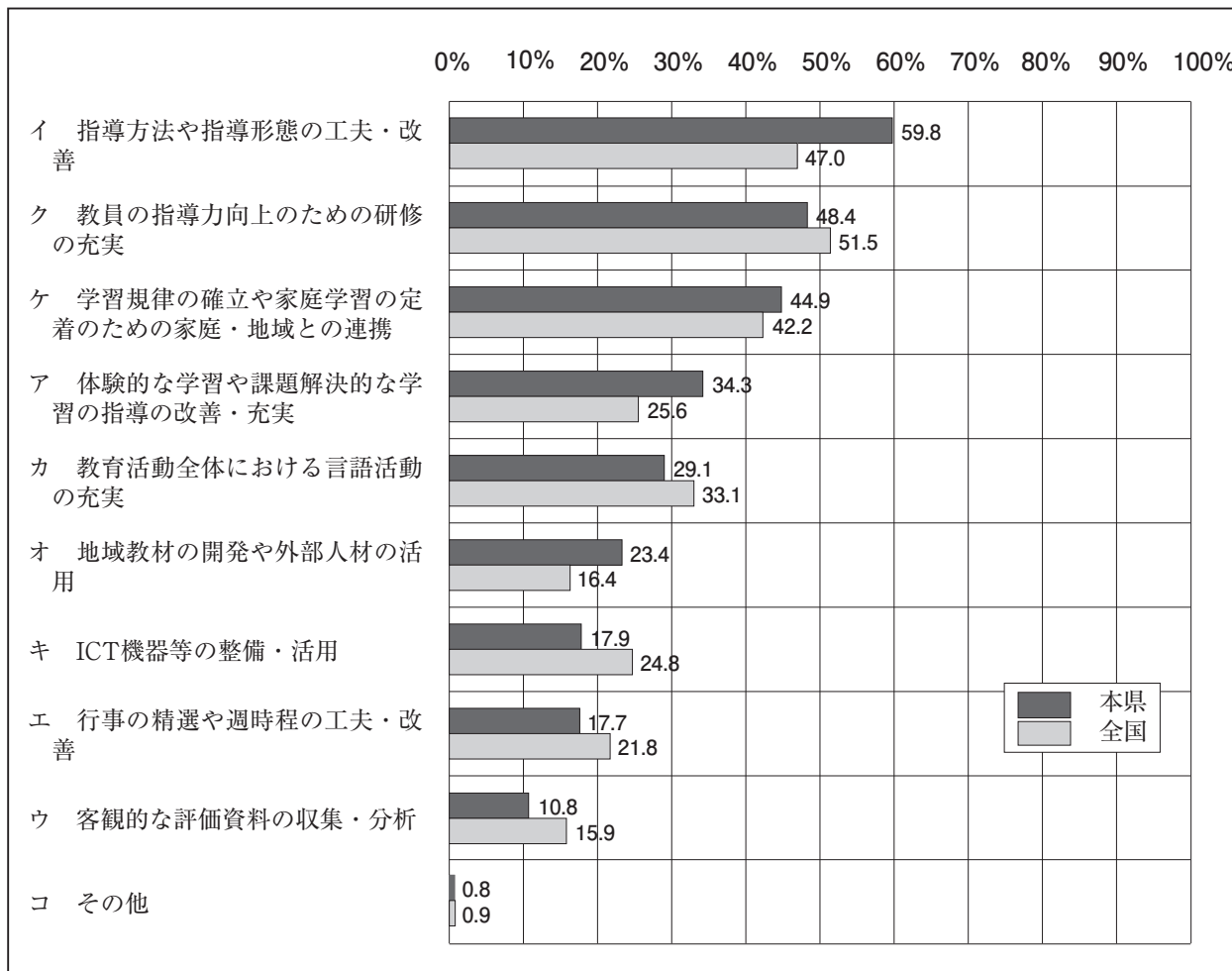
本県において、学習指導の充実を図るための教育課程編成上の工夫・改善の第1位は「体験的な学習や課題解決的な学習の実施」、第2位は「各種の学力調査や検定テスト等、客観的な評価の活用」、第3位は「ティームティーチングや少人数指導等の指導方法の工夫」である。

全国の第1位は「ティームティーチングや少人数指導等の指導方法の工夫」、第2位は「基礎・基本の習得の時間や補充指導の時間の設定」第3位は「体験的な学習や課題解決的な学習の実施」である。本県第2位の「各種の学力調査や検定テスト等、客観的な評価の活用」については、全国は第5位で、本県より22.9ポイントも低くなっている。第3位の「ティームテ

ィーチングや少人数指導等の指導方法の工夫」については、全国は第1位であり、本県より12.8ポイントも高くなっている。さらに、第4位の「基礎・基本の習得の時間や補充指導の時間の設定」については、全国は第2位となっている。そして、第5位の「探究的な学習活動ができるよう、地域教材や外部人材の活用」は、全国よりも19.3ポイントも高い結果となっている。逆に、第6位の「言語活動の充実を図るため教育活動全体での組織的・計画的な取組」は全国より14.1ポイントも低く、第7位の「電子黒板やタブレット端末等のICT機器の活用」についても、全国より5.9ポイント低い結果となっている。

【問2】 あなたの学校では、学習指導の充実を図るために、教育課程の編成においてどのようなことが課題となっていますか。（3つ以内を選択）

<結果>



<分析>

本県において、学習指導の充実を図るための教育課程編成上の課題の第1位は「指導方法や指導形態の工夫・改善」、第2位は「教員の指導力向上のための研修の充実」、第3位は「学習規律の確立や家庭学習の定着のための家庭・地域との連携」である。

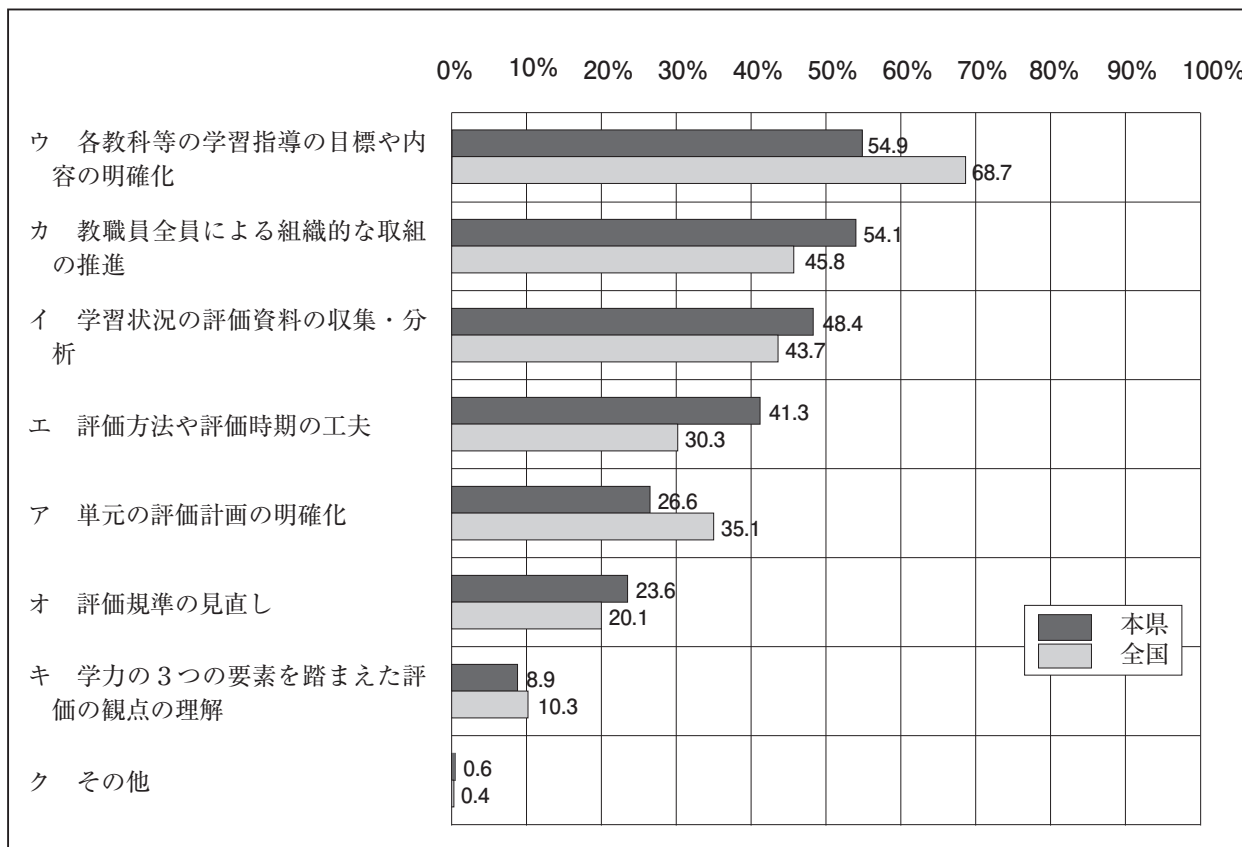
本県の上位3つは、全国と同じ傾向である。本県第1位の「指導方法や指導形態の工夫・改善」は、59.8%であり、全国より12.8ポイントも高くなっている。第2位、第3位については

同じ傾向である。続く第4位の「体験的な学習や課題解決的な学習の指導の改善・充実」、第6位の「地域教材の開発や外部人材の活用」については、全国よりそれぞれ8.7ポイント、7.0ポイント高い結果となっている。

一方、本県第7位の「ICT機器等の整備・活用」第9位の「客観的な評価資料の収集・分析」については、全国よりそれぞれ6.9ポイント、5.1ポイント低い結果となっている。

【問3】 あなたの学校では、学習評価の妥当性や信頼性を高めるために、どのような工夫・改善を図っていますか。（3つ以内を選択）

<結果>



<分析>

本県において、学習評価の妥当性や信頼性を高めるための工夫・改善の第1位は「各教科等の学習指導の目標や内容の明確化」、第2位は「教職員全員による組織的な取組の推進」、第3位は「学習状況の評価資料の収集・分析」であり、いずれも50%前後である。

全国においても上位3つは同様の傾向であるが、本県第1位の「各教科等の学習指導の目標や内容の明確化」については、本県の54.9%に対して、全国は68.7%であり、本県よりも13.8ポイントも高くなっている。

一方、第2位の「教職員全員による組織的な取組の推進」については、本県は54.1%であり、全国の45.8%と比べて8.3ポイント高くなっている。

第3位の「学習状況の評価資料の収集・分析」についても、本県は48.4%であり、全国より4.7ポイント高くなっている。

第4位の「評価方法や評価時期の工夫」については、本県は全国より11.0ポイント、第6位の「評価規準の見直し」についても同様に、本県は全国より3.5ポイント高くなっている。

しかし、本県第5位の「単元の評価計画の明確化」については、全国の35.1%に対して、本県は26.6%であり、全国よりも8.5ポイント低い結果であった。さらに、第7位の「学力の3つの要素を踏まえた評価の観点の理解」についても、全国の10.3%に対して、本県は8.9%であり全国よりも1.4ポイント低い結果となっている。

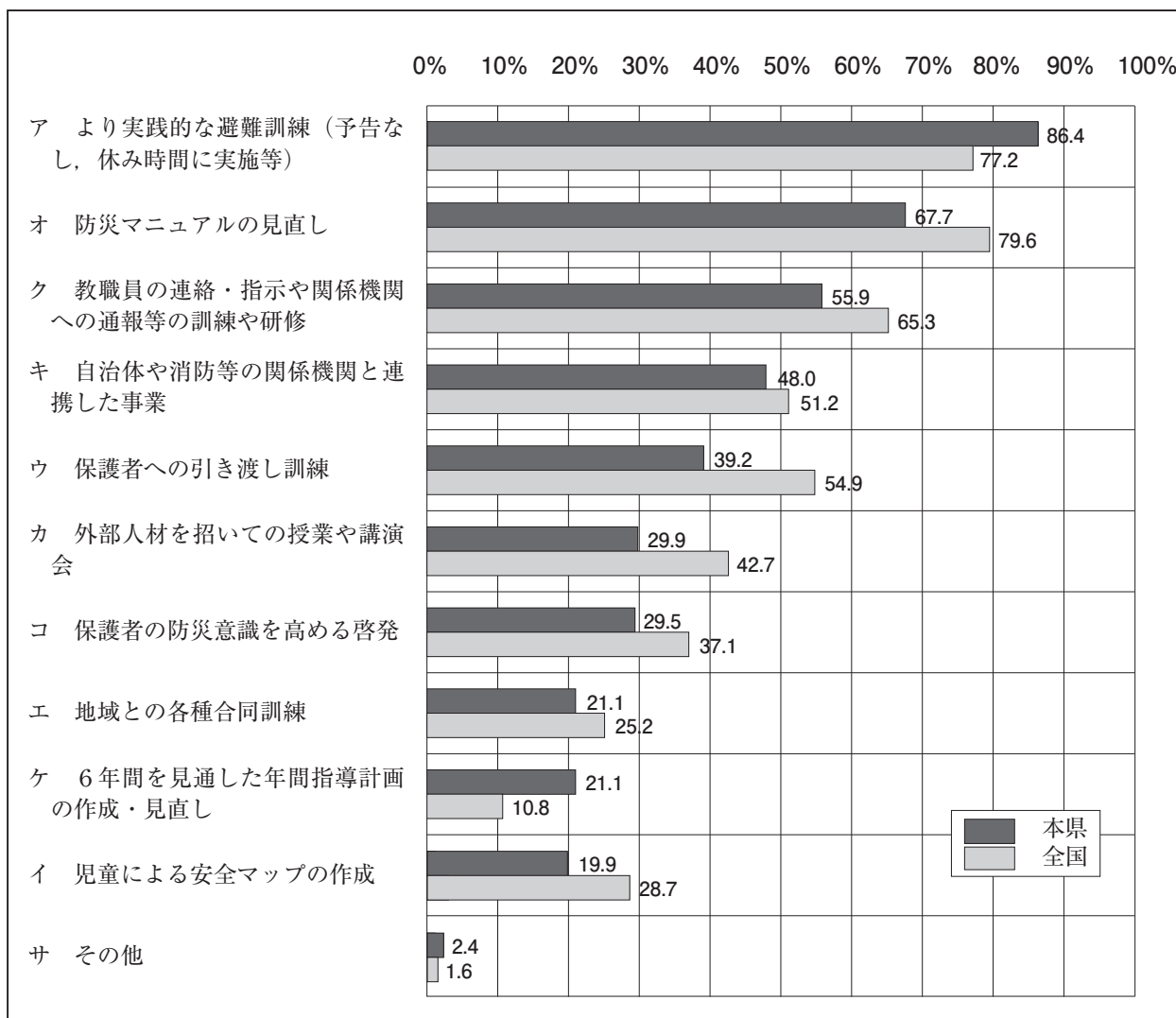
調査Ⅲ 防災教育、交通安全教育の指導に関する調査

【問1】 防災教育にかかわる指導における実施内容

【問2】 交通安全教育にかかわる指導における実施内容

【問1】 あなたの学校では、防災教育にかかわる指導において、どのような内容を実施していますか。（複数選択）

<結果>



<分析>

本県において、防災教育の指導として実施している内容の第1位は「より実践的な避難訓練（予告なし、休み時間に実施等）」、第2位は「防災マニュアルの見直し」、第3位は「教職員の連絡・指示や関係機関への通報等の訓練や研修」である。

全国においては、「より実践的な避難訓練

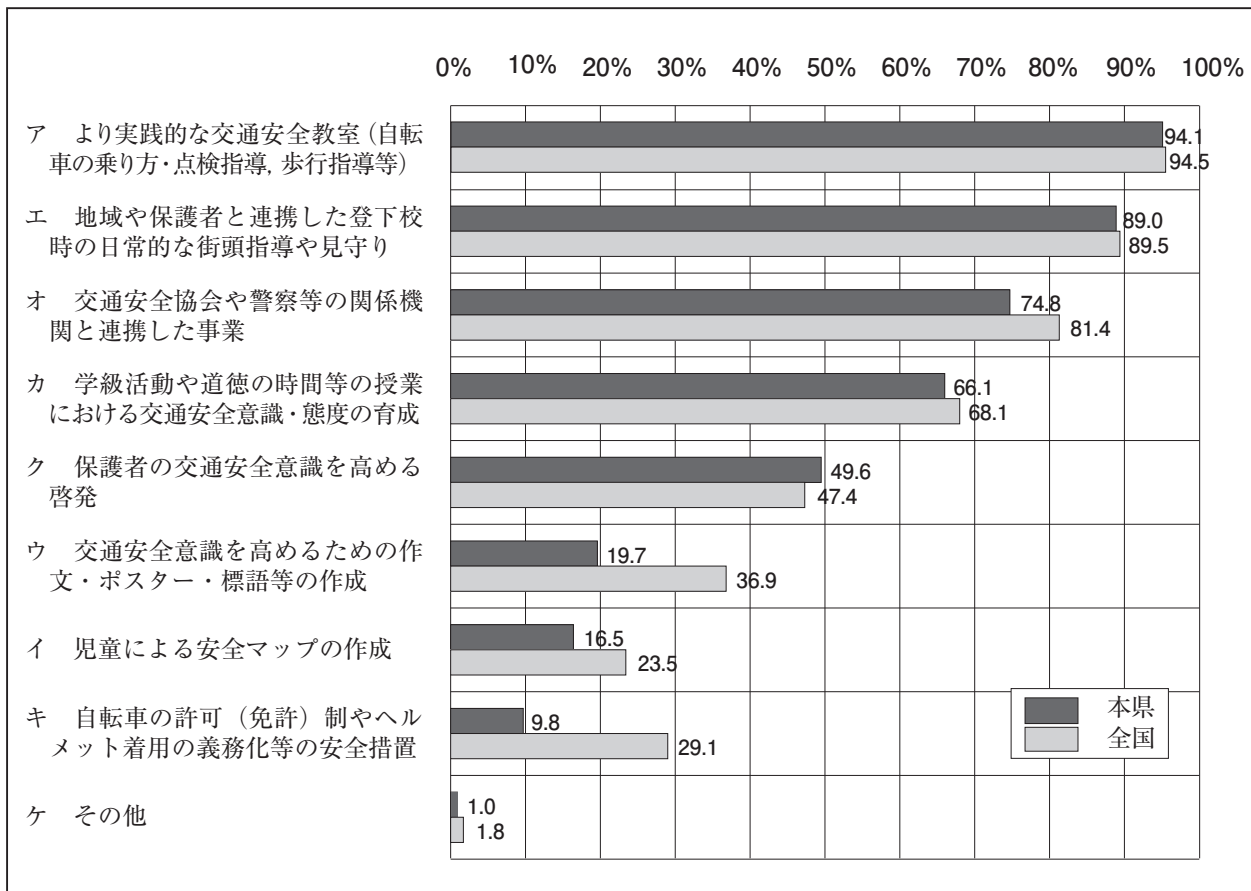
（予告なし、休み時間に実施等）」と「防災マニュアルの見直し」がほぼ同じ割合で上位2つを占め、次いで「教職員の連絡・指示や関係機関への通報等の訓練や研修」と続いている。本県第4位の「自治体や消防等の関係機関と連携した事業」、第5位の「保護者への引き渡し訓練」、第6位の「外部人材を招いての授業や講

演会」，第7位の「保護者の防災意識を高める啓発」，第10位の「児童による安全マップの作成」は，いずれも全国より低い結果となっている。とりわけ，第5位の「保護者への引き渡し訓

練」においては，15.7ポイントの大差があることが注目に値する。一方，本県第9位の「6年間を見通した年間指導計画の作成・見直し」は，全国に比べて10.3ポイント高い結果となっている。

【問2】 あなたの学校では，交通安全教育にかかわる指導において，どのような内容を実施していますか。（複数選択）

<結果>



<分析>

本県において，交通安全教育にかかわる指導として実施している内容の第1位は「より実践的な交通安全教室（自転車の乗り方・点検指導，歩行指導等）」，第2位は「地域や保護者と連携した登下校時の日常的な街頭指導や見守り」，第3位は「交通安全協会や警察等の関係機関と連携した事業」である。

本県第1位，第2位は全国の傾向とほぼ同様であり，90%ほどの高い割合を示している。全国を大きく下回るものとしては，第6位の「交

通安全意識を高めるための作文・ポスター・標語等の作成」である。本県は19.7%であり，全国より17.2ポイント低い。第7位の「児童による安全マップの作成」についても，本県は16.5%であり，全国より7.0ポイント低い結果となっている。さらに，第8位の「自転車の許可（免許）制やヘルメット着用の義務化等の安全措置」についても，本県は9.8%であり，全国より19.3ポイントも低い結果となっている。